

多可町ふるさと教育ガイドライン



多可町教育委員会

令和6年3月

目 次

1 はじめに

2 ふるさと教育のねらい

- (1) ふるさと教育全体のねらい
- (2) 各学年におけるテーマ

3 ふるさと教育を進める上での留意点

- (1) 各学校の年間カリキュラムにふるさと教育を位置づける
- (2) 多可町ふるさと検定の実施
- (3) 総合的な学習の時間の手法を取り入れる
- (4) ふるさと教育指導書の内容は必ず全小学校で実施
- (5) 地域の方を積極的に活用
- (6) 那珂ふれあい館や役場などの関係機関、事業所、諸団体の積極的な活用

4 多可町ふるさと教育カリキュラム

5 オプションプログラム

6 多可町ふるさと教育 情報共有サイトの紹介

1 はじめに

多可町では、旧町時代にそれぞれの町ごとに作成したふるさと教育副読本を元にして、ふるさと教育に取り組んできました。また、特色ある郷土学習として旧中町で播州歌舞伎・鶏あわせ・龍神太鼓に、旧加美町で杉原紙・カジカガエルの飼育に、旧八千代町で敬老の日・ホテルの飼育等に取り組んできました。そして、平成17年に3町が合併して多可町となってからも、旧町での取組のいくつかは各学校に引き継がれていきました。

さらに、平成24年度には杉原谷小学校で、地域に誇りを持った子どもたちに育ててほしい、子どもたちに地域のことをもっともっと知ってほしいという願いから、PTA有志と学校教職員で実行委員会を編成して「杉原谷ふるさと百科」が作成され、全ての子どもたちに配布されました。「杉原谷ふるさと百科」は、杉原谷小学校区に特化した自然や歴史について小さな写真と解説を掲載した冊子です。そして、引き続き実行委員会が中心となり、1年間かけて「杉原谷ふるさと検定」が作成されました。ここまでできれば〇級という認定証を児童に手渡すなど、ふるさとを愛する子どもたちの育成に大いに貢献する優れた実践がなされてきました。

この取組が契機となり、平成25年にふるさと教育推進委員会の尽力で小学生版のふるさと教育指導書の初版が完成するとともに、平成29年には多可町全体の多可町ふるさと検定も完成し、全ての小中学校でふるさと検定への取組が本格的に始まりました。

また、旧町ごとに独自に作成していたふるさと教育副読本も、合併時に再編集がなされ、何年かに一度の改訂を積み重ねて、今回、令和5年度版のふるさと教育副読本「わたしたちのふるさと多可町」が完成しました。

今回の副読本は、冊子ではなくICT化に対応してweb版とし、タブレット（パソコン）とネット環境があればどこでも見ることができ、web版のサムネイルと目次をクリックすると当該ページに飛んでいくという仕様になっています。web版とすることで、小学校3・4年生だけでなく、5・6年生や中学生の活用も見込まれ、中学校卒業段階で地域のことをよく知り、地域に誇りを持った子どもたちに育ててほしいといった願いを込めています。

さらに、今回、ふるさと検定実施前に多可町のことを学んでから検定に取り組めるよう、「多可町ふるさと検定事前学習資料（R5エピソード版）」を作成しました。また、ふるさと教育指導書の内容を見直し改訂を行いました。併せて、ホームページ上からふるさと教育に係る資料をダウンロードして活用できるよう「多可町ふるさと教育情報共有サイト」を整備しました。そして、これらの資料に加えて小中9年間を見通したふるさと教育カリキュラムを盛り込んだ「多可町ふるさと教育ガイドライン」を策定しました。

終わりになりますが、今回のふるさと教育推進の指針となるガイドラインでは、それぞれの学校の実情に合わせて、各教科、総合的な学習の時間、特別活動等にふるさと教育カリキュラムを位置付けて実施していくこととしています。各学校では児童生徒が身近な地域での体験や探究活動、地域に生きる人々とのかかわりを通して多可町のことをよく知り、多可町が大好きになるよう資料を積極的に活用してふるさと教育を推進して欲しいと思っています。

2 ふるさと教育のねらい

(1) ふるさと教育全体のねらい

- ① 多可町に対する関心、愛着を深める
身近な地域や多可町に対する関心や愛着を深め、ふるさとへの誇りを育てる。
- ② 多可町に対する知識・理解を深める
身近な地域や多可町の歴史や文化、自然、産業、現状と課題等に関する知識や理解を深める。
- ③ 多可町民としての自覚、実践的な態度を育成する
身近な地域での体験や探究活動、地域に生きる人々とのかかわりを通して、地域社会の一員としての自覚を深め、よりよい多可町を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。
- ④ 問題解決を通じた生き方・あり方を探求する
学び方やものの考え方を身につけるとともに、持続可能な社会の実現やウェルビーイングの社会の実現に向けて、自己の生き方や在り方を考え、夢と希望、将来への展望を育む。

(2) 各学年におけるテーマ

発達段階を考慮し、各学年におけるテーマを設定

- ① 小学校1・2年生 「ふるさとを知る」
- ② 小学校3・4年生 「ふるさとの生活にふれる」
- ③ 小学校5・6年生 「ふるさとの宝を誇る」
- ④ 中学生 「ふるさとの未来を拓く」

3 ふるさと教育を進める上での留意点

- (1) 各学校の年間カリキュラムにふるさと教育を位置づける
学校の実情に合わせて、多可町ふるさと教育カリキュラムをもとに各教科や総合的な学習の時間、特別活動等に位置付けて取り組む。(※ 小学校1・2年では、主に生活科に位置づけて取り組む。)
- (2) 多可町ふるさと検定の実施
ふるさと検定を実施する前に、小学校ではふるさと検定事前学習資料(R5エピソード版)を活用するなど、学校の実情に合わせて事前学習を行うことが望ましい。中学校では、事前学習としてタブレットを活用して「ふるさと検定問題」や「わたしたちのふるさと多可町」、「播磨の奥座敷多可」などの資料の閲覧が考えられる。
- (3) 総合的な学習の時間の手法を取り入れる
探求学習といった総合的な学習の時間の手法を活用しながら児童生徒の主体的な取組となることが望ましい。
- (4) ふるさと教育指導書の内容は必ず全小学校で実施
小学校では、ふるさと教育指導書の内容をふるさと教育カリキュラムに盛り込んでいる。なお、ふるさと教育指導書にある内容は、当該学年以外での実施も可。
- (5) 地域の方を積極的に活用
各学校に設置されている学校運営協議会で協議するなど、地域と結びついた学習方法を工夫する。特にお年寄りとの交流やゲストティーチャーを招くなど、地域の人材や学校支援ボランティアの積極的な活用が考えられる。
- (6) 那珂ふれあい館や役場などの関係機関、事業所、諸団体の積極的な活用
多可町の歴史や文化を学べる貴重な施設である那珂ふれあい館へ積極的に出向いたり、出前講座の活用を検討する。(特に6年生は、年間1回は那珂ふれあい館を訪れるか出前講座を申し込むことになっている。)
中学校では役場の各課の仕事内容を知る出前講座も可能。

4 多可町ふるさと教育カリキュラム（必ず取り組む内容）

学年	内 容 () 内は配当予定時間、【】は扱う教科等
(1年)	○鹿の恩がえし (1) 【道徳】
(2年)	○りょんりょん (1) 【道徳】
(3年)	○あまんじゃこ (2) 【道徳】 ○人を大切にする町をめざして 門脇政夫 (1) 【道徳】 ○ふるさと教育副読本「わたしたちのふるさと多可町」① (8) 【社会科】
(4年)	○日本一の酒米 山田錦の父 山田勢三郎 (1) 【道徳】 ○郷土の歌人 山口茂吉 (1) 【国語科】 ○ふるさと教育副読本「わたしたちのふるさと多可町」② (8) 【社会科】 ○多可町ふるさと検定 (2) 【特活】
(5年)	○まいぎり式火起こし体験 (3) 【総合】 ○播州歌舞伎を知ろう (1) 【総合】 ○播州歌舞伎を見よう (1) 【総合】 ○多可町ふるさと検定 (2) 【特活】
(6年)	○那珂ふれあい館（館内見学と勾玉作り）・東山古墳の見学 (4) 【総合】 ○郷土のほこり「杉原紙」について知ろう、調べよう (3) 【総合】 ○杉原紙で卒業証書づくり (2) 【総合】 ○村人を守るために 夏梅太郎右衛門 (1) 【道徳】 ○多可町ふるさと検定 (2) 【特活】
(中1)	○ふるさとキャリア教育（地元で頑張る人から学ぶ） (2) 【総合】 ○洋子の播州歌舞伎 (1) 【道徳】 ○多可町ふるさと検定 (2) 【特活】
(中2)	○トライやる・ウィーク（多可町の会社から学ぼう） (30) 【総合】 ○多可町ふるさと検定 (2) 【特活】
(中3)	○多可町ふるさと検定 (2) 【特活】

※ カリキュラム内容は、小中学校とも各学校の状況により違う学年でも実施可です。

5 オプションプログラム（他に実施が考えられる内容）

学年	内 容 () 内は配当予定時間、【】は扱う教科等
(1年)	○季節の花を育てよう(6)【生活科】 ○生き物探しにでかけよう(6)【生活科】 ○昔の遊びを体験しよう(お年寄りとの交流)(2)【生活科】 ○さつまいもを育てよう(8)【生活科】
(2年)	○地元のこども園と交流しよう(2)【生活科】 ○多可町に伝わる昔話を聞こう(地域の人から)(2)【生活科】 ○町たんけん(自分の住んでいる地域自慢を探そう)(8)【生活科】 ○野菜栽培(地域の人から教わろう)(8)【生活科】
(3年)	○町内諸施設(図書館・消防署等)の見学(10)【総合】
(4年)	○「青い目のメリー」について学ぼう(コークゼミ)(2)【総合】
(5年)	○田植え、稲刈り体験(地域の人との協力)(4)【総合】
(6年)	○郷土料理を作ろう(給食センターや地域の人との協力)(2)【家庭科】
(中1)	○出前講座:多可町の社会教育について(こども未来課職員)(2)【総合】 ○出前講座:多可町の生活安全の取組について(生活安全課職員)(2)【総合】
(中2)	○出前講座:多可町の古代から中世の歴史(那珂ふれあい館職員)(2)【総合】 ○出前講座:多可町の商工観光について(商工観光課職員)(2)【総合】 ○出前講座:多可町の定住推進の取組について(定住推進課職員)(2)【総合】 ○出前講座:多可町の生涯学習について(生涯学習課職員)(2)【総合】
(中3)	○出前講座:多可町議会について知ろう(議会事務局職員)(2)【総合】 ○出前講座:多可町の健康福祉について知ろう(健康課福祉課職員)(2)【総合】 ○出前講座:多可町の税金の使い道について知ろう(税務課職員)(2)【総合】 ○出前講座:多可町の近世の発展を学ぶ(那珂ふれあい館職員)(2)【総合】 ○多可町の魅力を発信しよう(10)【総合】

※ 多可町の誕生日である11月1日を含む週の1週間、多可町歌を給食時の昼の放送で流したり音楽の鑑賞で取り上げたりすることも考えられる。

6 多可町ふるさと教育 情報共有サイトの紹介（多可町のホームページ上にアップ） （多可町のHP - 教育・文化・スポーツ - ふるさと検定 - 多可町ふるさと教育 情報共有サイト）

このページでは多可町のふるさと教育にまつわる様々な資料を掲載しています。
リンク（黄緑色）をクリックすることで様々な資料を閲覧することができます。

- ① **多可町ふるさと教育ガイドライン（R6策定）**
＜ふるさと教育を推進するためのガイドラインです＞
- ② **多可町ふるさと検定（R5修正版） ふるさと検定事前学習資料（R5エピソード版）**
＜小学生版と中学生・一般版の問題と解答が入っています＞
- ③ **「わたしたちのふるさと多可町」**
＜多可町のweb版のふるさと教育副読本です＞
- ④ **ふるさと教育指導書（R5修正版）**
＜ふるさと教育を推進するための小学校用の指導案集です＞
- ⑤ **まんが版「杉原紙の歴史」**
＜杉原紙の歴史をまんがでわかりやすく説明しています＞
- ⑥ **八千代町の昔ばなし**
＜多可町や八千代区にまつわる民話が楽しめます＞
- ⑦ **播磨の奥座敷多可**
＜多可町の寺社、記念碑、伝説、人物、観光地などの情報がまとまっています＞
- ⑧ **多可の里風土記**
＜多可町の合併10周年を記念した冊子です。多可町内全62集落の歴史を振り返ります＞
- ⑨ **洋子の播州歌舞伎（兵庫県版道徳教育副読本） 資料 展開例**
＜伝統の若き伝承者。少女たちが感じた伝統への思いを感じるストーリーです＞
- ⑩ **青い目のメリー 広報板**
＜青い目のメリー人形がつなぐ心の交流物語です＞

※ ふるさと教育指導書に係る資料集

＜小1＞鹿の恩がえし	紙芝居（絵）	紙芝居（文）	楮の写真
＜小2＞りょんりょん	紙芝居（絵）	紙芝居（文）	昔ばなし 副読本 動画（天船貴船神社）
＜小3＞あまんじゃこ	紙芝居（絵）	紙芝居（文）	昔ばなし OH! TAKA RA風土記
＜小3＞門脇政夫	紙芝居（絵）	紙芝居（文）	副読本① 副読本②
＜小4＞山口茂吉	歌碑	副読本	
＜小4＞山田勢三郎	紙芝居（絵）	紙芝居（文）	資料「なかごころ」 副読本
＜小5＞播州歌舞伎	資料「なかごころ」	副読本	播州歌舞伎の台本 限取り 動画（口上） 動画（どんどろ大師） 動画（義経千本桜） 動画（寿式三番叟）
＜小6＞夏梅太郎右衛門	顕彰碑	副読本	
＜小6＞杉原紙	紙芝居（絵）	紙芝居（文）	副読本
＜小6＞東山古墳	紙芝居（絵）	紙芝居（文）	巨大石室墳を掘る

※ 多可町の歴史にふれるリンク集

- ・ **杉原紙研究所**
- ・ **那珂ふれあい館**
- ・ **多可町観光交流協会（TAKA JOY）**

※ 赤字で示している**動画**や**ふるさと教育事前学習資料（R5エピソード版）**を活用する場合は、職員室でのみアクセスできる校務支援パソコンからファイルエクスプローラーで「¥¥efs4¥小中連 携¥ふるさと教育・ふるさと検定」と進むと、ダウンロードできます。